

「第20回 世界石油会議 ドーハ大会」への出展について

記者各位

当社(社長:木村 康)は、12月4日(日)から12月8日(木)まで、カタール国・ドーハで開催される「第20回 世界石油会議 ドーハ大会」に参加し、展示ブースを出展しますので、お知らせいたします。

世界石油会議は、石油の科学、技術、経済、管理について討論の場を提供する機関として1933年、ロンドンに設立され、3年に1回、世界大会を開催しています。第20回目となる今回のドーハ大会は、中東湾岸諸国で初めて開催される世界大会であり、産油国・消費国の政府、エネルギー関連企業などから多くの関係者が出席する予定です。

本大会の一環として実施される展示会において、当社は、SOFC型※1エネファーム、太陽光発電システム、蓄電池システムを設置した「ENEOS創エネハウス」でのプレゼンテーションや、電気自動車(EV)への充電や燃料電池自動車(FCV)への水素充填が可能な「マルチステーション」の模擬体験を中心とするブースを出展します。

当社は、「第20回 世界石油会議 ドーハ大会」への参加を通じて、最新のエネルギーシステムや環境配慮商品・技術を参加国の方々にご紹介し、当社の取り組みへの理解を深めていただきたいと考えております。

記

1. 名 称：第20回 世界石油会議 ドーハ大会

2. 開催時期：2011年12月4日(日)～12月8日(木) [当社ブース出展:12月5日(月)～12月8日(木)]

3. 会 場：Qatar National Convention Center (カタール国・ドーハ)

4. 出展概要

(1)ENEOS創エネハウス

SOFC型エネファーム・太陽光発電システム・蓄電池システムを設置した「ENEOS創エネハウス」について、映像と電飾を活用したプレゼンテーションを実施します。

(2)マルチステーション

EV急速充電器と水素ディスペンサー※2を設置し、来場者がEVへの充電、FCVへの水素充填を模擬体験できます。

(3)その他

プレミアムモーターオイル「ENEOS SUSTINA(サスティナ)」、レコサール※3、「高過酷度流動接触分解(HS-FCC)プロセス※4」、「GTL(Gas To Liquids)※5」など、当社の環境配慮商品・技術をパネルや映像でご紹介します。

5. 展示ブース(イメージ図)



- ※1 固体酸化物形燃料電池(Solid Oxide Fuel Cell) : 電解質にセラミックを用い、各種燃料電池のなかでも発電効率が最も高い。セルに貴金属が不要なことも特徴。
- ※2 FCVに高圧水素を供給する充填装置。
- ※3 石油精製過程の副産物である硫黄を有効利用して製造するコンクリート状の建設資材。
- ※4 石油精製過程において、従来型の流動接触分解(FCC)プロセスと比較し、付加価値の高い石油化学原料であるプロピレン(プラスチックの原料)や高オクタンガソリンを高収率で生産することを可能にしたプロセス。
- ※5 天然ガスを原料に軽油、灯油などの石油製品を製造する技術。石油代替の燃料ソースの確保と多様化を可能にする極めて有効な手段であり、また、GTLによって製造される燃料は、硫黄分や芳香族分などを含まない、クリーンで環境に優しい燃料としても期待されている。

以上